



2021年3月期 中間決算情報〔日本基準〕(連結)

2020年11月26日

会社名 成田国際空港株式会社 上場取引所 —
 コード番号 — URL <https://www.naa.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 明比古
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部門財務部長 (氏名) 山本 健 TEL 0476 (34) 5400
 半期報告書提出予定日 2020年12月23日
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 有
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期中間期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|---------|-------|---------|------|---------|------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期中間期 | 33,213 | △73.8 | △30,651 | — | △30,135 | — | △42,477 | — |
| 2020年3月期中間期 | 126,797 | 1.4 | 29,337 | △5.9 | 28,455 | △6.3 | 18,395 | △10.3 |

(注) 包括利益 2021年3月期中間期 △42,331百万円(—%) 2020年3月期中間期 19,287百万円(△6.0%)

| | 1株当たり 中間純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり 中間純利益 | |
|-------------|----------------|----|-----------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2021年3月期中間期 | △19,331 | 24 | — | — |
| 2020年3月期中間期 | 9,197 | 95 | — | — |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期中間期 △57百万円 2020年3月期中間期 10百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--|---------|--|--------|---------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 2021年3月期中間期 | 928,769 | | 367,073 | | 38.7 | 149,911 | 85 | |
| 2020年3月期 | 834,378 | | 379,405 | | 44.5 | 185,666 | 81 | |

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 358,999百万円 2020年3月期 371,333百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 中間期末残高 | |
|-------------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|---------------------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 2021年3月期中間期 | △15,080 | | △52,660 | | 164,461 | | 135,204 | |
| 2020年3月期中間期 | 40,125 | | △16,813 | | △16,329 | | 42,800 | |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|-------|---|----|---|-----|
| | 中間期末 | | 期末 | | 合計 |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | | 未定 | | 未定 |
| 2021年3月期 | — | | | | 未定 |
| 2021年3月期(予想) | — | | 未定 | | |

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-------|---------|---|---------|---|---------------------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 68,300 | △71.2 | △65,100 | — | △65,400 | — | △78,300 | — | △34,102 | 02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期中間期 | 2,394,736株 | 2020年3月期 | 2,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期中間期 | －株 | 2020年3月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（中間累計） | 2021年3月期中間期 | 2,197,368株 | 2020年3月期中間期 | 2,000,000株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期中間期の個別業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績（%表示は対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|--------|-------|---------|------|---------|------|---------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期中間期 | 30,230 | △65.6 | △25,450 | － | △26,165 | － | △37,249 | － |
| 2020年3月期中間期 | 87,865 | 2.0 | 24,423 | △4.7 | 23,389 | △5.7 | 15,100 | △10.6 |

| | 1株当たり 中間純利益 | |
|-------------|----------------|----|
| | 円 | 銭 |
| 2021年3月期中間期 | △16,951 | 73 |
| 2020年3月期中間期 | 7,550 | 11 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--|---------|--|--------|---------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 2021年3月期中間期 | 889,008 | | 315,155 | | 35.5 | 131,603 | 54 | |
| 2020年3月期 | 794,245 | | 322,412 | | 40.6 | 161,206 | 08 | |

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 315,155百万円 2020年3月期 322,412百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-------|---------|---|---------|---|---------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 61,400 | △63.0 | △54,200 | － | △56,700 | － | △68,400 | － | △29,790 | 27 |

※中間決算情報は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）通期連結業績予想」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 1 |
| (1) 経営成績の概況 | 1 |
| (2) 財政状態の概況 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 通期連結業績予想 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間連結損益及び包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (表示方法の変更) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| 4. 中間個別財務諸表 | 15 |
| (1) 中間貸借対照表 | 15 |
| (2) 中間損益計算書 | 17 |
| (3) 中間株主資本等変動計算書 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルスの影響により、これまで経験したことのない危機に直面しており、感染の抑制と社会経済活動を両立すべく、世界各国において模索が続いております。

特に航空業界は、甚大な被害を受けており、国際線については、各国の渡航制限により一部の帰国者や赴任者等を除く旅客需要がほぼ消失した状態が継続しております。一部の国・地域との間においては、感染の沈静化に伴い出入国の要件を緩和する動きが見られるものの、感染拡大を続ける国・地域も多く、需要の回復には相当な時間を要すると見込んでおります。国内線については、4月7日の緊急事態宣言の発出、都道府県を跨ぐ移動の自粛を受け航空需要が大きく減退した後、夏休み期間において運航再開や増便等回復の兆しを見せ始めたものの、8月下旬以降、国内の感染再拡大に伴い再度需要が押し下げられました。今後、感染の拡大と収束を繰り返しながらも、需要は緩やかに回復すると見込んでおります。

このような状況の下、当社グループは、当中間連結会計期間において、国際拠点空港としての役割を果たすため、各国の渡航制限等の動向や国際機関の指針等を視野に入れながら、お客様が安全にかつ安心して空港をご利用いただくための取り組みを進め、政府、関係機関、航空会社等と一丸となって、グローバルな航空ネットワークの正常化に取り組んでまいりました。

また、最大限のコスト削減と設備投資抑制を継続・強化する一方で、回復、再成長を見据え中長期的な視点から実施する必要性の高い施策については、効果・緊急性を十分に検討の上、着実にこれを実施しております。

成田空港においては、感染拡大防止と安全かつ効率的な空港機能の確保・維持の観点から、4月12日から7月21日までの間、B滑走路を一時閉鎖しました。また、旅客ターミナルについては、4月20日から現在に至るまで一部の施設を閉鎖しております。併せて、国や空港関連事業者と連携し、検温の実施、消毒・清掃の実施、空港内の換気の強化、ソーシャルディスタンスの確保、デジタルサイネージやSNS等の各種媒体による情報発信等お客様・従業員への感染症対策の徹底を行っております。

また、水際対策につきましては、感染症危険情報レベル3該当国からの入国者に対して当初鼻咽頭ぬぐい液によるPCR検査が行われておりましたが、7月29日より唾液による抗原検査に切り替えられたこと等により、検査処理能力の向上とおお客様の待ち時間短縮が図られました。

加えて、現在は、多くの国が入国時に陰性証明書の提出を義務付けており、その有効期限は、入国前の72時間前等短く設定されていることが多いことを踏まえ、出発前にウイルス検査を受検し、最短2時間で陰性証明書を受領出来る「成田国際空港PCRセンター」を、当中間連結会計期間後の11月2日に開設しました。本センターは、PCR検査ラボを併設する国内空港初の施設であり、受付から陰性証明書の発行までを日本医科大学が一貫して運営を行っております。

他方で、当社グループのみならず、航空会社やテナント等関係事業者の経営も、極めて厳しい状況に晒されていることから、この非常に困難な局面を、関係事業者と手を携えて乗り越えていくため、2020年3月から着陸料や停留料、構内営業料等各種料金の支払猶予・減免による支援措置を講じております。2021年4月請求分までの支援を決定しており、その支援規模は2020年3月からの累計で540億円程度となります。

成田国際空港の更なる機能強化については、国、千葉県、空港周辺9市町、当社による「成田空港に関する四者協議会」において、2018年3月に事業を実施していくことが確認され、2019年11月に当社から航空法に基づく変更許可申請を行い、2020年1月に国から航空法に基づく変更許可を頂きました。

当中間連結会計期間においては、2028年度末を完成予定期日としているC滑走路新設、B滑走路延伸の早期完成に向け、空港拡張区域において、埋蔵文化財調査や測量調査等を実施しております。

更なる機能強化については、成田国際空港の競争力強化のみならず、我が国及び首都圏の国際競争力強化、観光先進国の実現、地域の発展のためにも、1日も早くこれを実現できるよう、関係者のご協力を頂きながら努力してまいります。

また、当中間連結会計期間後の11月4日には、今後の航空需要の回復も見据え、顧客である航空旅客及び航空会社が成田空港に求めるニーズの把握を深度化し、提供価値を最大化するため、マーケティング統括室を設置しました。

なお、マーケティング統括室は、全社最適性・整合性を保持するとともに組織横断的に強いガバナンスを効かせるため、社長直轄の組織としました。

当中間連結会計期間における航空機発着回数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により旅客便の運休や減便が多数発生したことから、前年同期比64.5%減の47,986回となりました。航空旅客数は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による出入国制限や、国内における緊急事態宣言発出、都道府県をまたぐ移動自粛等の影響により、前年同期比94.0%減の1,358千人となりました。国際航空貨物量は、原動機や自動車の部分品等の輸出が減少し、仮陸揚

貨物においても、旅客便の大幅な運休や減便による貨物搭載スペースの減により取扱量が減少したことから、前年同期比12.8%減の889千tとなりました。給油量は、新型コロナウイルスの影響に伴う運休や減便により給油機数が大幅に減少したことから、前年同期比62.8%減の849千k1となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、営業収益は前年同期比73.8%減の33,213百万円、管理・運営費等最大限のコスト削減に努めたものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業収益の大幅な減少により営業損失は30,651百万円（前年同期は営業利益29,337百万円）、経常損失は30,135百万円（前年同期は経常利益28,455百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は42,477百万円（前年同期は中間純利益18,395百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

（空港運営事業）

空港運営事業では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国際線、国内線旅客便の運休及び減便が相次いだことにより、航空機発着回数及び旅客数が減少したことから、空港使用料収入は前年同期比55.0%減の9,467百万円、給油施設使用料収入は前年同期比62.8%減の2,964百万円、旅客施設使用料収入は前年同期比96.2%減の833百万円となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比72.4%減の15,876百万円、営業損失は30,936百万円（前年同期は営業利益7,013百万円）となりました。

（リテール事業）

リテール事業では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う旅客数の減少による店舗の営業休止等により、子会社が運営する直営店舗の物販・飲食収入は前年同期比95.8%減の1,715百万円、一般テナントからの構内営業料収入は前年同期比88.8%減の666百万円となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比92.9%減の3,677百万円、営業損失は5,155百万円（前年同期は営業利益14,442百万円）となりました。

（施設貸付事業）

施設貸付事業では、営業収益は前年同期比23.1%減の12,176百万円、営業利益は前年同期比33.4%減の5,106百万円となりました。

（鉄道事業）

鉄道事業では、営業収益は前年同期比0.7%減の1,481百万円、営業利益は前年同期比18.1%増の399百万円となりました。

（2）財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は928,769百万円、負債合計は561,695百万円、純資産合計は367,073百万円となりました。

（資産の部）

資産は、前連結会計年度末比11.3%増の928,769百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、有価証券が増加したこと等により前連結会計年度末比132.5%増の165,701百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が増加したものの、投資その他の資産が減少したことにより前期末並みの763,067百万円となりました。

（負債の部）

負債は、前連結会計年度末比23.5%増の561,695百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加等により前連結会計年度末比32.9%増の131,654百万円となりました。固定負債は、財政融資資金の借入による長期借入金の増加等により前連結会計年度末比20.8%増の430,040百万円となりました。なお、長期借入金残高（1年内返済を含む）は126,650百万円となり、社債残高（1年内償還を含む）329,000百万円と合わせた長期債務残高は前連結会計年度末比26.2%増の455,650百万円となりました。

（純資産の部）

株主資本は、前連結会計年度末比3.4%減の359,236百万円となりました。これは、新株の発行があったものの、親会社株主に帰属する中間純損失が42,477百万円計上されたことによるものです。当中間連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の44.5%から38.7%へ減少しました。

非支配株主持分は、前連結会計年度末比0.03%増の8,074百万円となり、その他の包括利益累計額を含めた純資産合計は、前連結会計年度末比3.3%減の367,073百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比92,403百万円増の135,204百万円となりました。フリー・キャッシュ・フローは、前年同期比91,053百万円減の67,741百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の減少等により前年同期比55,205百万円減の15,080百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の増加等により前年同期比35,847百万円増の52,660百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、財政融資資金の借入れや新株の発行等により前年同期比180,790百万円増の164,461百万円のキャッシュ・インとなりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2018年 3月期 | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 | 2020年 3月期中間期 | 2021年 3月期中間期 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 自己資本比率 (%) | 41.1 | 43.5 | 44.5 | 44.5 | 38.7 |
| 債務償還年数 (年) | 6.2 | 4.9 | 5.9 | — | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 16.7 | 23.1 | 25.7 | 31.6 | △15.0 |

・自己資本比率：自己資本（純資産－非支配株主持分）／総資産

・債務償還年数：（社債＋短期借入金＋長期借入金）／営業活動によるキャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー／利息の支払額

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）社債・長期借入金は、いずれも1年以内に償還・返済期限が到来するものを含んでおります。

（注3）債務償還年数は、中間期は記載しておりません。

(4) 通期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の影響により、合理的な算定が困難であることから業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいて業績予想を公表いたします。

2021年3月期の成田国際空港の航空取扱量は、下期において徐々に回復に向かうものの、依然として新型コロナウイルスの影響を大きく受ける見通しであり、航空機発着回数は前期比63.3%減の9.5万回、航空旅客数は前期比90.9%減の377万人となる見通しです。国際航空貨物量は、貨物専用機の発着回数が前期を超える水準を見込むものの、世界的な企業活動の停滞や、旅客便の運休・減便による貨物搭載スペースの減少により、前期比13.7%減の177万tとなる見通しです。給油量は、旅客便の運休・減便により、前期比60.5%減の174万klとなる見通しです。

空港運営事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による減便、運休に伴う航空機発着回数の減少により、空港使用料収入が減収となることや、航空旅客数についても同様の理由により減少し、旅客施設使用料収入も減収となる見通しです。一方、運営費用等のコスト削減に取り組むものの、営業収益の減少を補いきれず、営業損失となる見通しです。また、リテール事業は、航空旅客数の減少により物販・飲食収入、構内営業料収入が減収となることから営業損失となる見通しです。

以上の結果、2021年3月期の通期業績予想は、営業収益は前期比71.2%減の683億円、営業損失は651億円（前期は営業利益407億円）、経常損失は654億円（前期は経常利益391億円）、親会社株主に帰属する当期純損失は783億円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益244億円）となる見通しです。

なお、当業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものです。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、我が国において一般に公正妥当と認められている会計基準である日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準につきましては、我が国における適用動向等を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 33,646 | 71,894 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,951 | 15,013 |
| リース投資資産 | 681 | 660 |
| 有価証券 | 5,000 | 63,500 |
| たな卸資産 | 10,203 | 9,805 |
| その他 | 13,031 | 5,181 |
| 貸倒引当金 | △259 | △355 |
| 流動資産合計 | 71,254 | 165,701 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 371,048 | 379,703 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 34,952 | 35,636 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 17,018 | 16,643 |
| 土地 | 298,314 | 300,476 |
| 建設仮勘定 | 10,276 | 8,663 |
| その他(純額) | 155 | 173 |
| 有形固定資産合計 | 731,765 | 741,297 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,750 | 4,845 |
| その他 | 8,284 | 8,074 |
| 無形固定資産合計 | 13,034 | 12,919 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,936 | 2,875 |
| 長期貸付金 | 1,621 | 1,621 |
| 繰延税金資産 | 12,096 | 2,662 |
| 退職給付に係る資産 | 435 | 549 |
| その他 | 1,235 | 1,409 |
| 貸倒引当金 | △1 | △267 |
| 投資その他の資産合計 | 18,323 | 8,850 |
| 固定資産合計 | 763,124 | 763,067 |
| 資産合計 | 834,378 | 928,769 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,636 | 3,363 |
| 短期借入金 | — | 40,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 30,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 23,700 | 23,700 |
| 未払法人税等 | 3,965 | 3,201 |
| 賞与引当金 | 2,335 | 2,240 |
| その他 | 52,404 | 29,150 |
| 流動負債合計 | 99,041 | 131,654 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 319,000 | 299,000 |
| 長期借入金 | 8,300 | 102,950 |
| 退職給付に係る負債 | 16,867 | 16,910 |
| 役員退職慰労引当金 | 271 | 238 |
| 環境対策引当金 | 1,082 | 1,082 |
| その他 | 10,409 | 9,858 |
| 固定負債合計 | 355,931 | 430,040 |
| 負債合計 | 454,973 | 561,695 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 119,736 |
| 資本剰余金 | 51,654 | 61,917 |
| 利益剰余金 | 220,059 | 177,582 |
| 株主資本合計 | 371,714 | 359,236 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5 | 2 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △386 | △240 |
| その他の包括利益累計額合計 | △381 | △237 |
| 非支配株主持分 | 8,071 | 8,074 |
| 純資産合計 | 379,405 | 367,073 |
| 負債純資産合計 | 834,378 | 928,769 |

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 営業収益 | 126,797 | 33,213 |
| 営業原価 | 78,404 | 49,949 |
| 営業総利益又は営業総損失(△) | 48,392 | △16,736 |
| 販売費及び一般管理費 | 19,055 | 13,914 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 29,337 | △30,651 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 54 | 46 |
| 固定資産受贈益 | 113 | — |
| 持分法による投資利益 | 10 | — |
| 受取賠償金 | 62 | 2 |
| 店舗什器負担金 | 21 | 25 |
| 受取社宅負担金 | 30 | 33 |
| 助成金収入 | 1 | 1,357 |
| その他 | 160 | 176 |
| 営業外収益合計 | 453 | 1,641 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 49 | 100 |
| 社債利息 | 1,221 | 957 |
| 持分法による投資損失 | — | 57 |
| その他 | 65 | 10 |
| 営業外費用合計 | 1,335 | 1,125 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 28,455 | △30,135 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 0 |
| 鉄道事業補助金 | 55 | 55 |
| 国庫補助金 | 108 | 1,935 |
| 工事負担金等受入額 | 1 | 11 |
| 特別利益合計 | 166 | 2,002 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,797 | 2,780 |
| 固定資産圧縮損 | 106 | 1,847 |
| その他 | 48 | 185 |
| 特別損失合計 | 1,952 | 4,814 |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 26,669 | △32,947 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,767 | 139 |
| 法人税等調整額 | △522 | 9,388 |
| 法人税等合計 | 8,245 | 9,528 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 18,424 | △42,475 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△) | 18,395 | △42,477 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 28 | 2 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4 | △3 |
| 退職給付に係る調整額 | 867 | 146 |
| その他の包括利益合計 | 862 | 143 |
| 中間包括利益 | 19,287 | △42,331 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 19,258 | △42,334 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 28 | 2 |

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|--------|---------|------------|----------------------|----------------------|---------------------------|-------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本 合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 51,654 | 206,364 | 358,019 | 17 | △1,651 | △1,633 | 8,006 | 364,391 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | | — | | | | | — |
| 剰余金の配当 | | | △10,728 | △10,728 | | | | | △10,728 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | | | 18,395 | 18,395 | | | | | 18,395 |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | △4 | 867 | 862 | 28 | 891 |
| 当中間期変動額合計 | — | — | 7,667 | 7,667 | △4 | 867 | 862 | 28 | 8,559 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 51,654 | 214,032 | 365,687 | 13 | △784 | △770 | 8,034 | 372,951 |

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|--------|---------|------------|----------------------|----------------------|---------------------------|-------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本 合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 51,654 | 220,059 | 371,714 | 5 | △386 | △381 | 8,071 | 379,405 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 19,736 | 10,263 | | 29,999 | | | | | 29,999 |
| 剰余金の配当 | | | — | — | | | | | — |
| 親会社株主に帰属する 中間純損失(△) | | | △42,477 | △42,477 | | | | | △42,477 |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | △3 | 146 | 143 | 2 | 145 |
| 当中間期変動額合計 | 19,736 | 10,263 | △42,477 | △12,477 | △3 | 146 | 143 | 2 | △12,331 |
| 当中間期末残高 | 119,736 | 61,917 | 177,582 | 359,236 | 2 | △240 | △237 | 8,074 | 367,073 |

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 26,669 | △32,947 |
| 減価償却費 | 18,676 | 19,408 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 281 | △95 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 1,293 | 323 |
| 受取利息及び受取配当金 | △54 | △46 |
| 支払利息及び社債利息 | 1,270 | 1,058 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △10 | 57 |
| 固定資産除却損及び圧縮損 | 893 | 2,717 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △1 | △0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,676 | △6,321 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 644 | 312 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △2,518 | △6,942 |
| 預り敷金及び保証金の増減額(△は減少) | △44 | △179 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △299 | △1,088 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 957 | △1,551 |
| その他 | 1,175 | 12,440 |
| 小計 | 51,610 | △12,855 |
| 利息及び配当金の受取額 | 57 | 50 |
| 利息の支払額 | △1,270 | △1,006 |
| 法人税等の支払額 | △10,272 | △1,269 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 40,125 | △15,080 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △16,482 | △52,658 |
| 固定資産の売却による収入 | 1 | 0 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △176 | △12 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △162 | △0 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △0 | - |
| その他 | 6 | 9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △16,813 | △52,660 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | - | 40,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 95,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △500 | △350 |
| 社債の発行による収入 | 14,947 | - |
| 社債の償還による支出 | △20,000 | - |
| 配当金の支払額 | △10,728 | - |
| 株式の発行による収入 | - | 29,861 |
| その他 | △49 | △50 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △16,329 | 164,461 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 12 | 28 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 6,994 | 96,748 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 35,806 | 38,456 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 42,800 | 135,204 |

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(中間連結損益及び包括利益計算書関係)

前中間連結会計期間において「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益及び包括利益計算書において「営業外収益」の「その他」に含めていた1百万円を「助成金収入」に組替えております。

(会計上の見積りの変更)
該当事項はありません。
(追加情報)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業務の性質に応じて、「空港運営事業」、「リテール事業」、「施設貸付事業」及び「鉄道事業」の4つの事業活動を展開しており、これらを報告セグメントとしております。

「空港運営事業」は、発着、給油、警備等の空港施設の整備・運営及び旅客サービス施設等の空港事業に係る施設の管理・運営事業を行っております。

「リテール事業」は、商業スペースの運営事業並びに免税店（市中免税店を含む）、小売・飲食店、取次店の運営、各種空港関連サービスの提供及び広告代理業を行っております。

「施設貸付事業」は、航空公司等を主要顧客とした事務所、貨物施設等の賃貸事業を行っております。

「鉄道事業」は、成田国際空港周辺地域及び成田国際空港と首都東京を直結する鉄道事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結財務 諸表計上額(注) 2 |
|------------------------|------------|------------|------------|----------|---------|--------------|----------------------|
| | 空港運営 事業 | リテール 事業 | 施設貸付 事業 | 鉄道 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 57,512 | 51,949 | 15,843 | 1,492 | 126,797 | - | 126,797 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,331 | 375 | 665 | 33 | 5,405 | △5,405 | - |
| 計 | 61,843 | 52,324 | 16,509 | 1,525 | 132,203 | △5,405 | 126,797 |
| セグメント利益 | 7,013 | 14,442 | 7,668 | 337 | 29,462 | △124 | 29,337 |
| セグメント資産 | 619,988 | 62,033 | 97,724 | 40,453 | 820,200 | △135 | 820,064 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 (注) 3 | 13,402 | 1,571 | 3,118 | 675 | 18,767 | △90 | 18,676 |
| 持分法適用会社への投資額 | 275 | - | - | - | 275 | - | 275 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 13,131 | 1,653 | 2,781 | 7 | 17,573 | △78 | 17,495 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△124百万円は、各報告セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△135百万円には、各報告セグメント間の債権債務の相殺消去△4,329百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,193百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結財務 諸表計上額(注) 2 |
|------------------------|------------|------------|------------|----------|---------|--------------|----------------------|
| | 空港運営 事業 | リテール 事業 | 施設貸付 事業 | 鉄道 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,876 | 3,677 | 12,176 | 1,481 | 33,213 | - | 33,213 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,223 | 243 | 537 | 16 | 4,020 | △4,020 | - |
| 計 | 19,100 | 3,921 | 12,713 | 1,498 | 37,233 | △4,020 | 33,213 |
| セグメント利益又は損失(△) | △30,936 | △5,155 | 5,106 | 399 | △30,586 | △64 | △30,651 |
| セグメント資産 | 676,415 | 61,651 | 146,324 | 41,763 | 926,155 | 2,613 | 928,769 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 (注) 3 | 14,107 | 1,656 | 3,094 | 647 | 19,506 | △97 | 19,408 |
| 持分法適用会社への投資額 | 215 | - | - | - | 215 | - | 215 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 29,277 | 2,340 | 736 | 10 | 32,363 | △31 | 32,332 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△64百万円は、各報告セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額2,613百万円には、各報告セグメント間の債権債務の相殺消去△1,628百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,242百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

| | 空港使用料 収入 | 旅客施設 使用料収入 | 物販・飲食 収入 | 土地建物等 貸付料収入 | その他 | 合 計 |
|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------|--------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 21,052 | 21,669 | 40,909 | 12,399 | 30,767 | 126,797 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国及び地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国及び地域に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益の内、特定の顧客への営業収益が中間連結損益及び包括利益計算書の営業収益の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

| | 空港使用料 収入 | 旅客施設 使用料収入 | 物販・飲食 収入 | 土地建物等 貸付料収入 | その他 | 合 計 |
|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------|--------|--------|
| 外部顧客への売上高 | 9,467 | 833 | 1,807 | 9,960 | 11,143 | 33,213 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国及び地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国及び地域に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

| 顧客の名称または氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|------------|-------|---------------|
| 全日本空輸(株) | 5,003 | 空港運営事業、施設貸付事業 |
| 日本航空(株) | 4,267 | 空港運営事業、施設貸付事業 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 185,666.81円 | 149,911.85円 |

1株当たり中間純利益又は1株当たり中間純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---|--|--|
| 1株当たり中間純利益又は1株当たり中間純損失 (△) | 9,197.95円 | △19,331.24円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△) (百万円) | 18,395 | △42,477 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純 損失(△) (百万円) | 18,395 | △42,477 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 2,000 | 2,197 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

4. 中間個別財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当中間会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,959 | 57,859 |
| 売掛金 | 8,247 | 15,286 |
| リース投資資産 | 681 | 660 |
| 有価証券 | 5,000 | 63,500 |
| 貯蔵品 | 1,608 | 1,728 |
| その他 | 11,984 | 4,287 |
| 貸倒引当金 | △251 | △353 |
| 流動資産合計 | 50,230 | 142,969 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 222,952 | 223,018 |
| 構築物（純額） | 131,971 | 140,765 |
| 機械及び装置（純額） | 35,220 | 36,052 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 14,175 | 13,976 |
| 土地 | 296,760 | 298,949 |
| 建設仮勘定 | 10,114 | 8,596 |
| その他（純額） | 372 | 330 |
| 有形固定資産合計 | 711,569 | 721,688 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,137 | 4,319 |
| その他 | 6 | 6 |
| 無形固定資産合計 | 4,144 | 4,325 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 15,272 | 15,272 |
| 繰延税金資産 | 8,231 | — |
| その他 | 4,799 | 5,012 |
| 貸倒引当金 | △1 | △259 |
| 投資その他の資産合計 | 28,301 | 20,025 |
| 固定資産合計 | 744,014 | 746,039 |
| 資産合計 | 794,245 | 889,008 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当中間会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 7,695 | 4,420 |
| 短期借入金 | 35,334 | 66,782 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 30,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 23,000 | 23,000 |
| リース債務 | 27 | 31 |
| 未払金 | 42,466 | 18,424 |
| 未払法人税等 | 2,644 | 3,004 |
| 賞与引当金 | 937 | 794 |
| その他 | 6,898 | 10,011 |
| 流動負債合計 | 129,004 | 156,469 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 319,000 | 299,000 |
| 長期借入金 | — | 95,000 |
| リース債務 | 66 | 72 |
| 退職給付引当金 | 12,344 | 12,469 |
| 役員退職慰労引当金 | 69 | 82 |
| 環境対策引当金 | 1,082 | 1,082 |
| その他 | 10,265 | 9,675 |
| 固定負債合計 | 342,829 | 417,383 |
| 負債合計 | 471,833 | 573,853 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 119,736 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 52,000 | 62,263 |
| 資本剰余金合計 | 52,000 | 62,263 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 圧縮記帳積立金 | 99 | 99 |
| 別途積立金 | 151,597 | 151,597 |
| 繰越利益剰余金 | 18,713 | △18,535 |
| 利益剰余金合計 | 170,410 | 133,161 |
| 株主資本合計 | 322,410 | 315,161 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | △5 |
| 評価・換算差額等合計 | 1 | △5 |
| 純資産合計 | 322,412 | 315,155 |
| 負債純資産合計 | 794,245 | 889,008 |

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 営業収益 | 87,865 | 30,230 |
| 営業原価 | 52,004 | 47,539 |
| 営業総利益又は営業総損失(△) | 35,861 | △17,308 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,437 | 8,142 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 24,423 | △25,450 |
| 営業外収益 | 294 | 345 |
| 営業外費用 | 1,328 | 1,061 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 23,389 | △26,165 |
| 特別利益 | 108 | 1,935 |
| 特別損失 | 1,803 | 4,702 |
| 税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△) | 21,693 | △28,933 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,936 | 4 |
| 法人税等調整額 | △342 | 8,311 |
| 法人税等合計 | 6,593 | 8,316 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 15,100 | △37,249 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|----------------|-------------|---------|-------------|-------------|------------|--------------------------------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 資本準備金 | 利益剰余金 | | | 利益剰余金 合計 | | | |
| | | | その他利益剰余金 | | | | | | |
| | | | 圧縮記帳 積立金 | 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 133,925 | 28,399 | 162,425 | 314,425 | — | 314,425 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | | | | | — | | — |
| 剰余金の配当 | | | | | △10,728 | △10,728 | △10,728 | | △10,728 |
| 中間純利益 | | | | | 15,100 | 15,100 | 15,100 | | 15,100 |
| 別途積立金の積立 | | | | 17,671 | △17,671 | — | — | | — |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | | | | 0 | 0 |
| 当中間期変動額合計 | — | — | — | 17,671 | △13,299 | 4,372 | 4,372 | 0 | 4,372 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 151,597 | 15,100 | 166,797 | 318,797 | 0 | 318,797 |

当中間会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|----------------|-------------|---------|-------------|-------------|------------|--------------------------------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 資本準備金 | 利益剰余金 | | | 利益剰余金 合計 | | | |
| | | | その他利益剰余金 | | | | | | |
| | | | 圧縮記帳 積立金 | 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 151,597 | 18,713 | 170,410 | 322,410 | 1 | 322,412 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 19,736 | 10,263 | | | | | 29,999 | | 29,999 |
| 剰余金の配当 | | | | | — | — | — | | — |
| 中間純損失(△) | | | | | △37,249 | △37,249 | △37,249 | | △37,249 |
| 別途積立金の積立 | | | | — | — | — | — | | — |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | | | | △7 | △7 |
| 当中間期変動額合計 | 19,736 | 10,263 | — | — | △37,249 | △37,249 | △7,249 | △7 | △7,256 |
| 当中間期末残高 | 119,736 | 62,263 | 99 | 151,597 | △18,535 | 133,161 | 315,161 | △5 | 315,155 |